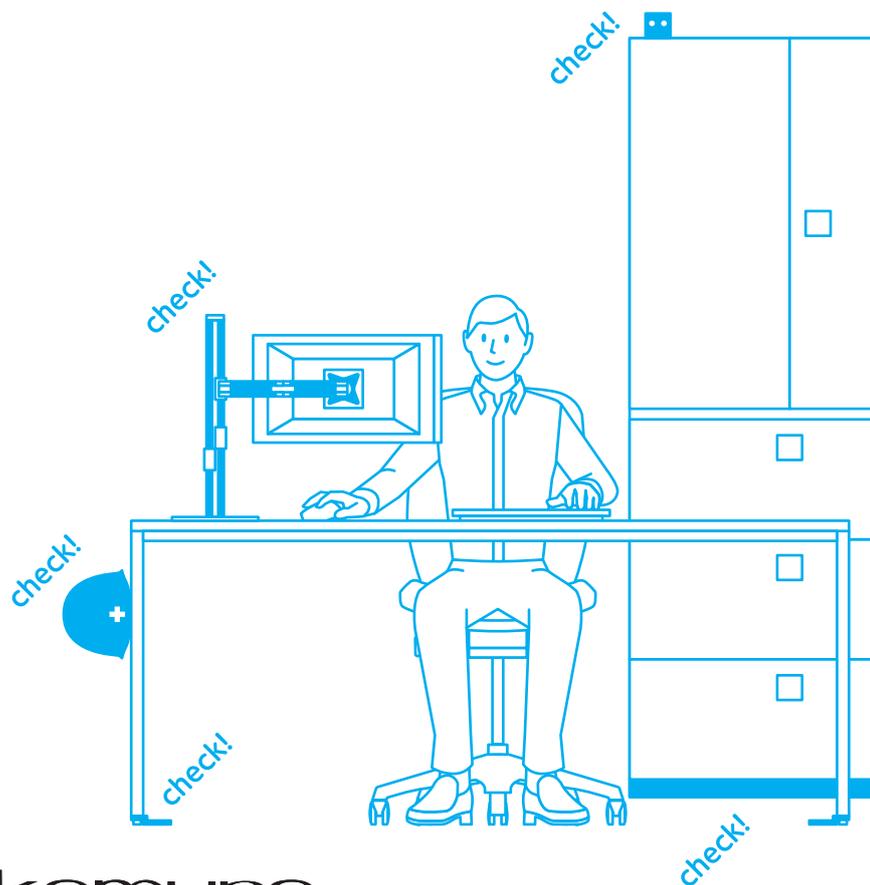


OFFICE SAFETY

[オフィスの地震対策のご案内]

実行できていますか？
オフィスの地震対策



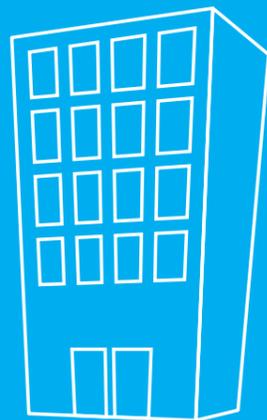
okamura

日常からあらゆる事態に対する リスクマネジメントの実行を。

地震をはじめ、火災、水害など、企業は常にあらゆるリスクに晒されています。かけがえのない事業資産である人命を第一に情報や設備・備品を守り、被害を最小限に抑え、事業を継続することが求められます。マニュアルをまとめたり、ガイドラインを策定するだけでなく、起こりうるさまざまな状況を想定して備えるBCM(事業継続マネジメント)の実行が必要です。



熊本地震後のオカムラ熊本支店



BCM(事業継続マネジメント)とは？

大地震等の自然災害、感染症のまん延、テロ等の事件、大事故、サプライチェーン(供給網)の途絶、突発的な経営環境の変化など不測の事態が発生しても、重要な事業を中断させない、または中断しても可能な限り短い期間で復旧させるための方針、体制、手順等を示した計画のことを事業継続計画(Business Continuity Plan)と呼ぶ。BCP策定や維持・更新、事業継続を実現するための予算・資源の確保、事前対

策の実施、取組を浸透させるための教育・訓練の実施、点検、継続的な改善などを行う平常時からのマネジメント活動は、事業継続マネジメント(Business Continuity Management)と呼ばれ、経営レベルの戦略的活動として位置付けられるものである。

【参考】
事業継続ガイドライン・あらゆる危機的事象を乗り越えるための戦略と対応(平成25年8月改定)
内閣府防災担当

TOPICS 1

南海トラフ沿い巨大地震に備えて、 「長周期地震動」対策が新たに求められています。

平成28年6月、国土交通省では南海トラフ沿いの巨大地震による長周期地震動への対策を取りまとめました。南海トラフ沿いで約100年~150年の間隔で発生しているとされるM8~9クラスの巨大地震に備えて、関東地域、静岡地域、中京および大阪地域にて超

高層建築物等(高さが60mを超える建築物および地上4階建て以上の免震建築物)を新築する場合と既存の超高層建築物等に対して、以下の対策を講じるよう通知がありました。

長周期地震動とは？



- 地震波の周期と建物の固有周期が一致することで共振して建物が大きく揺れます。
- 高層ビルは長時間にわたり大きく揺れます。
- 高層階の方がより大きく揺れる傾向があります。

超高層建築物等を 大臣認定により新築する場合 (平成29年4月1日以降)

- ✓従来からの検討に加えて、対象地震によって建設地で発生すると想定される長周期地震動による検討を行うこと
- ✓家具の転倒・移動防止対策に対する設計上の措置について説明すること
- ✓免震建築物や鉄骨造の超高層建築物について、長時間の繰返しの累積変形の影響を考慮して安全性の検証を行うこと

既存の超高層建築物等について

- ✓対象地震による建設地の設計用長周期地震動の大きさが、設計時に構造計算に用いた地震動の大きさを上回る場合には、大きな揺れによる家具の転倒、内装材や設備の損傷等による危害が発生するおそれがあることから、自主的な検証や必要に応じた補強等の措置を講じることが望ましい

長周期地震動によるオフィスへの影響を動画で確認できます。

E-ディフェンス 国立研究開発法人 防災科学技術研究所
www.bosai.go.jp/hyogo/

HOME ▶ 研究内容 ▶ 加震実験映像 ▶ [15] 超高層建築のオフィス空間(2008年1月)
◎オカムラでは、実験用にオフィス家具の提供を行っています。

TOPICS 2

結果と実績が証明する「オカムラの耐震実験」

オカムラでは1975年より、さまざまな耐震実験を繰り返しています。対策の有無による家具の性状比較や筐体各部の変化・耐震金具の安全確認、そしてモデルオフィス内に人を入れての人間行動調査など地震が及ぼす危険性を深く追求し、これらのデータを基に現在の製品に生かしています。

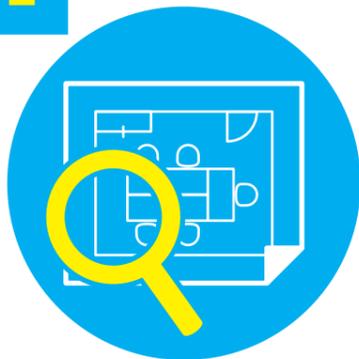


オカムラが提案する 地震対策 4つのポイント

オカムラは、1975年から耐震・免震実験や研究に取り組んできたオフィス家具メーカーとして、以下のポイントを基に、それぞれのオフィスに最適な地震対策をご提案をいたします。

Point 01

オフィスレイアウトの点検・見直し



地震が起きた場合でも被害を最小限に抑えるために、有効なレイアウトの改善をご提案します。

Point 02

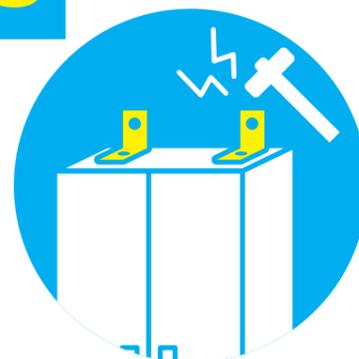
地震対策家具の採用



転倒・移動・散乱などを防ぐために、あらかじめ地震対策が施された家具をご提案します。

Point 03

工事による地震対策



転倒防止を目的とした家具の固定など、工事による地震対策をご提案します。

Point 04

日常の運用管理と点検



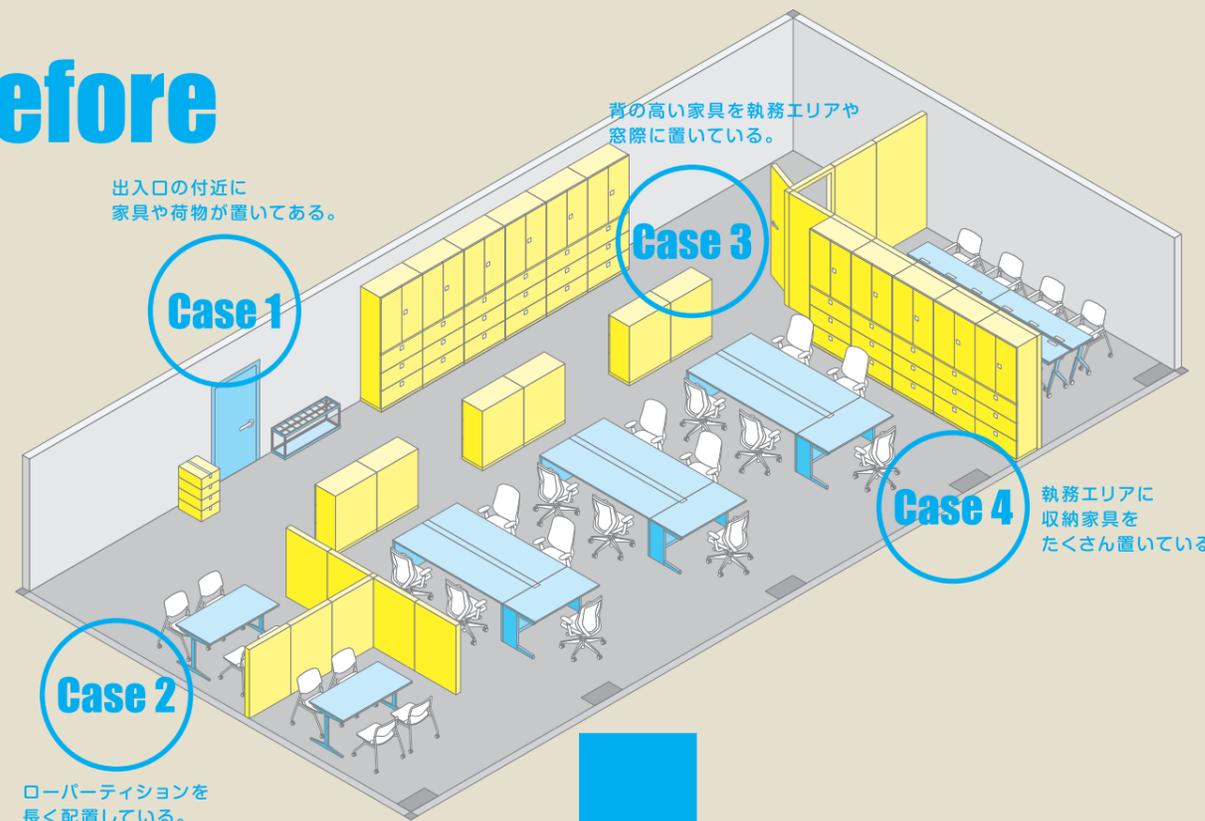
いざという時に適切な対応ができるように、BCM（事業継続マネジメント）の観点からご提案します。

Point 01

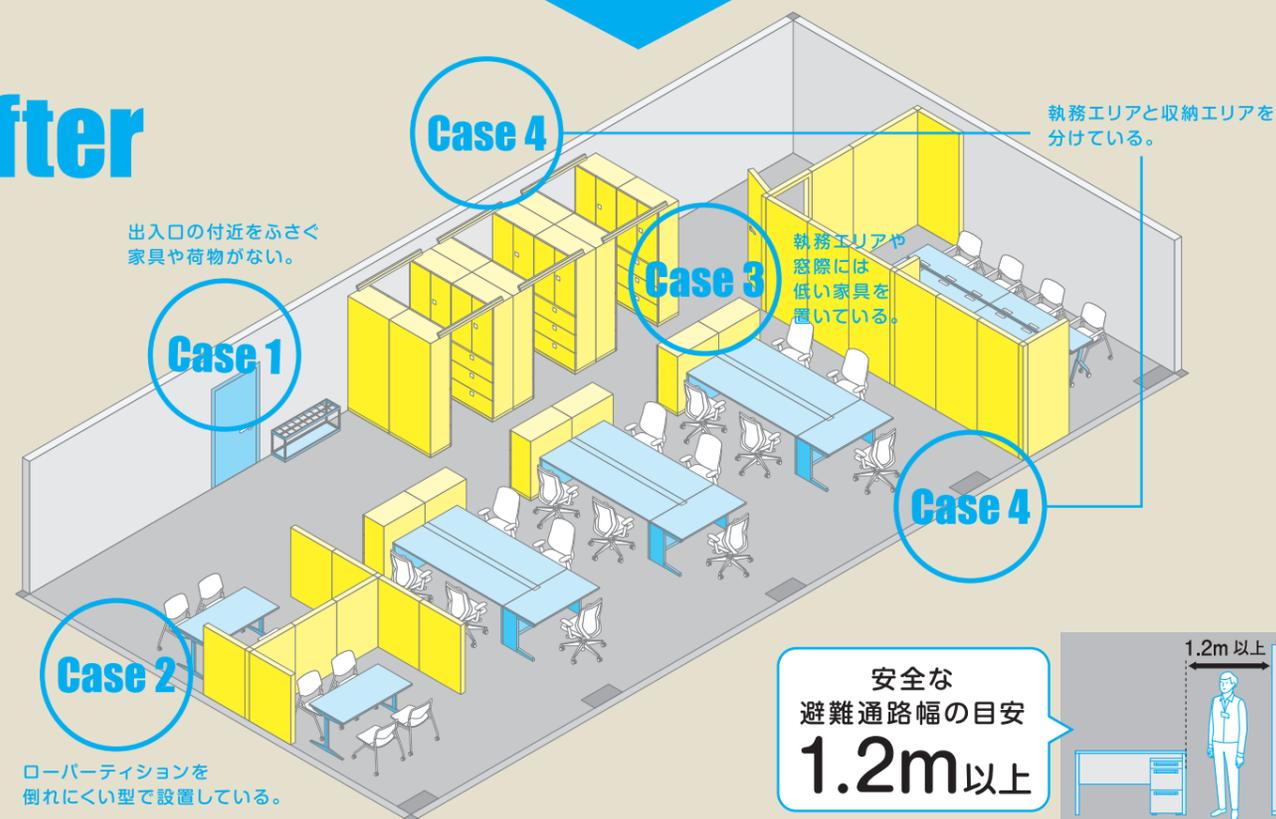
オフィスレイアウトの点検・見直し

家具のレイアウトに配慮を加えることで安全度はかなり高まります。万が一、地震による揺れで家具類が転倒しても人に与える被害を最小限に抑え、安全な避難通路を確保するためには、オフィスレイアウトにいくつかの配慮が必要です。

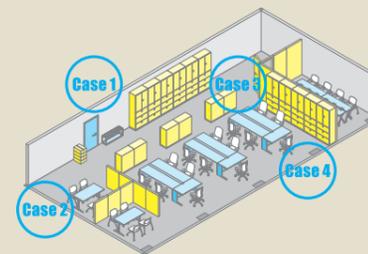
Before



After



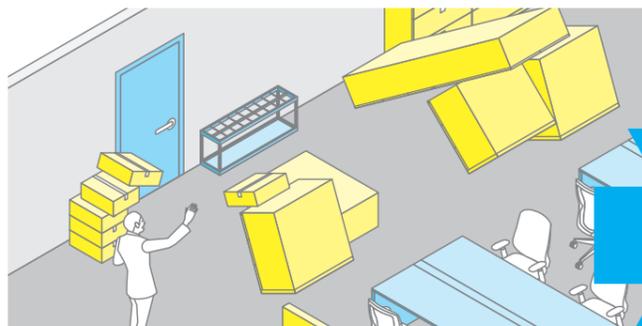
オフィスレイアウトの点検・見直し



Case 1

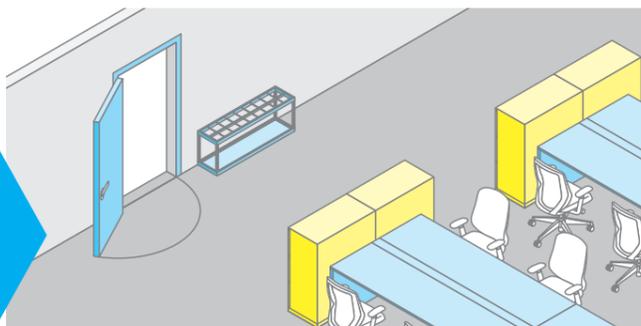
転倒・移動する可能性のある家具は、出入口(避難口)の近くに置かないようにしましょう。

点検・見直し前



家具を出入口付近に置くと、出入口をふさぎ、火災や倒壊が起きた際の逃げ遅れや閉じ込めの原因となります。

点検・見直し後

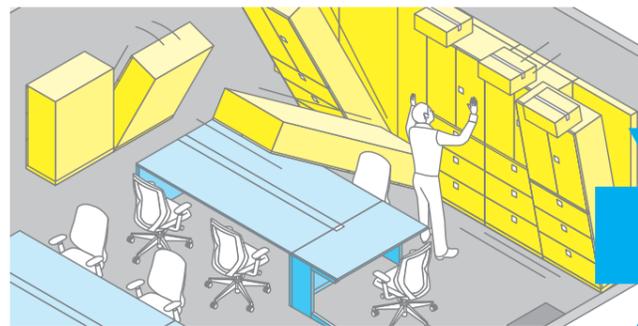


出入口をふさぐ家具がなくなり、避難経路が確保できます。引出しが飛び出すことで、つまずいてケガしたり避難の妨げになることもあるので、家具を置く方向にも注意しましょう。また、避難誘導灯がどこからでも見えるよう、遮蔽物を置かないようにしましょう。

Case 3

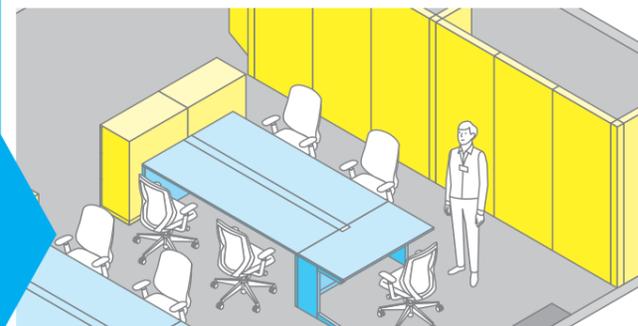
背の高い家具を、デスクまわりやオフィスの中央、窓のそばに置かないようにしましょう。

点検・見直し前



背の高い家具をデスクまわりやオフィスの中央等に置くと、地震の揺れで倒れて人に危害を与える原因になります。また、避難経路になる可能性がある窓側の開口部をふさいだり、道路などの外部にガラス破片が飛散する危険性も高まります。

点検・見直し後



背の高い家具は、なるべく人がいるところから離れた場所に設置しましょう。固定具で固定すると、より安全性が高まります。デスクまわりは、基本的に低い家具に限り、床固定またはデスク等に連結して設置しましょう。

Case 2

ローパーティションは、長く直線的に配置すると倒れやすくなるので、安定性の高いレイアウトにしましょう。

点検・見直し前



ローパーティションは一辺が3スパン以上の長さになると、負荷がかかり倒れやすくなります。

点検・見直し後

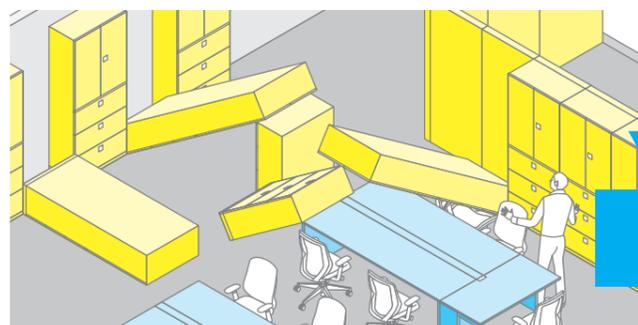


直線部分は2~3スパン以内にとどめて、倒れにくい型で設置しましょう。詳しくは、14ページをご覧ください。

Case 4

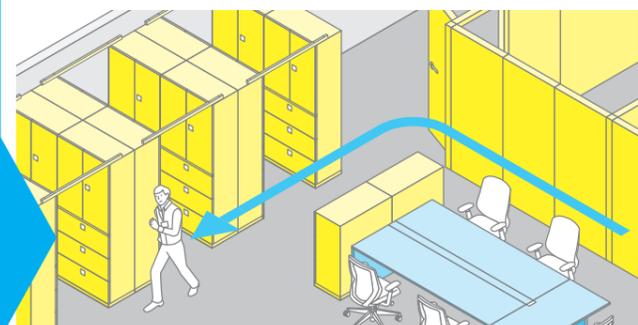
可能な限り執務エリアと収納エリアをわけましょう。

点検・見直し前



執務エリアに壁固定・床固定しないで家具を置くと、倒れて人に危害を与えたり、避難経路をふさぐ可能性があります。

点検・見直し後



あらかじめ執務エリアと書架などの収納エリアを分けておく避難経路の確保にもつながり安心です。さらに家具は、頭つなぎ材での連結、筋交い(ブレース)での補強、壁固定*・床固定*等をしておく倒壊のリスクを軽減できます。
*建築躯体に固定してください。

地震対策家具の採用

地震対策が施せない家具の入れ替えや、揺れ・振動を嫌う機器類を収納する家具の導入などを検討しましょう。 ※一部収納家具では、構造上、床固定できないものがございます。

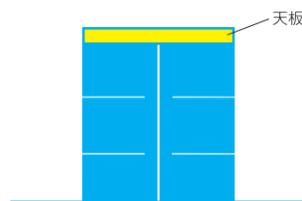
天板 【背合せアイランドタイプ】

(Rectlineシリーズ)

背面連結とともに天板で連結させ一体化することで、収納家具の安定性を高めます。



天板

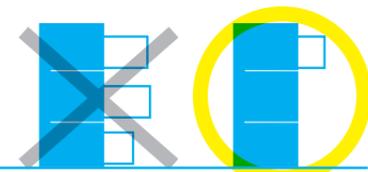


▲2つのキャビネットを背中あわせて連結し、天板で一体化

セーフティロック

(Rectline, SAシリーズ)

引出しが同時に開いて収納が転倒しないように、同時に2段以上引き出せない構造です。



ディスプレイアーム

デスクの天板に固定し、ディスプレイが倒れるのを防ぎます。



ガラス両開き書庫

(Rectlineシリーズ)

収納物が倒れてガラスが割れた場合に備えて、より安全性に配慮した強化ガラスを使用しています。

※一部強化ガラスを採用していない製品があります。その際は飛散防止フィルムを貼ることをお勧めいたします。



扉ラッチ

(収納システム全シリーズ)

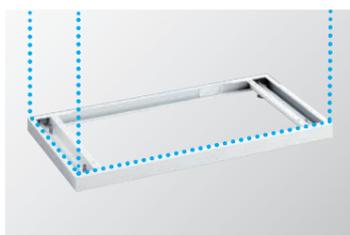
扉が勝手に開いて収納物が飛び出さないように、把手にラッチ機構が標準装備されています。



OAフロア用ベース

(Rectlineシリーズ)

収納家具を設置する部分のOAフロアを撤去し、コンクリート床面に直接固定するためのベースです。



キャスターストッパー

揺れ・振動による移動を防止。移動の必要がない場合は、ロックを掛けておきましょう。

引戸・引出しラッチ

(収納システム全シリーズ/デスクシステム)

不用意に扉が開いたり、引出しが飛び出さないように、把手にラッチ機構が標準装備されています。(ペントレー引出しは除く)

上下・左右連結

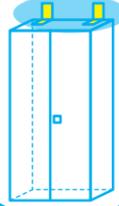
(収納システム全シリーズ)

上下・左右に各ユニットを連結可能。一体化して防倒性を高めます。必ず連結してください。

工事による地震対策

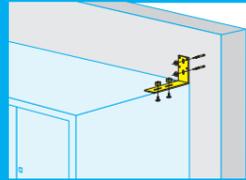
建物の構造を把握し、適切な固定方法などを選びましょう。オフィスの床や壁、天井の材質や構造を確認した上で、安全を確保できる固定方法を検討し、家具の転倒防止対策を立てましょう。

壁固定対策



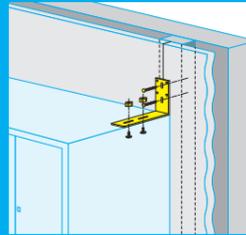
〈コンクリートの場合〉

床固定と比べると、はるかに少ない固定力で効力を発揮します。家具の固定金具をオールアンカーでコンクリート壁に打ち込みます。



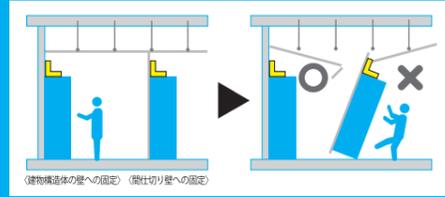
〈ボード壁の場合〉

軽量鉄骨下地の場合は、ボード壁裏の軽量鉄骨を狙って家具を固定します。ない場合は、ボードアンカーを使って固定します。どちらも保持力を特定できないため、確実な強度が得られません。

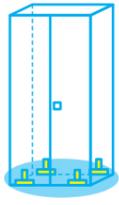


注意 間仕切り壁の場合は壁固定しないようにしましょう。

建物の構造体に結合されていない間仕切り壁・ハイパーパーティションは、家具を支える十分な強度がなく、壁体や吊り天井の破損につながる危険があるため、壁固定しないようにしましょう。また、重量のある家具は置かないようにしましょう。＊条件によっては固定できる場合もございます。お気軽にお問い合わせください。

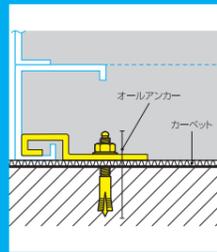


床固定対策



〈スラブ床に直接固定の場合〉

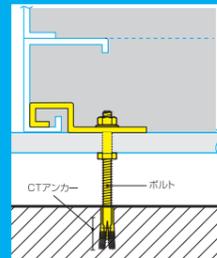
Pタイルなどスラブ床に直接固定、またはOAフロア50mm以内の場合は、強度の高いオールアンカーを用います。



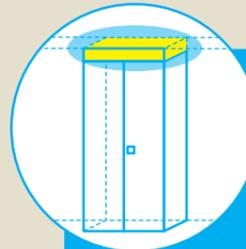
〈OAフロア(100mm以内)の場合〉

高さ50mm以上100mm以内のOAフロアに対しては、CTアンカー＊等と長いボルトを使用して、床本体と家具をサンドイッチ構造で固定する必要があります。

＊内部コーン打込み式めねじアンカー

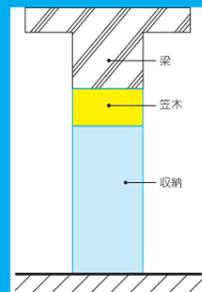


天井固定対策



〈梁の下の場合〉

背の高い収納家具では、そのシリーズの笠木を使用し、建築の梁に直接突っ張ることが有効です。梁の下以外はあまり効果が期待できません。



収納家具の固定による耐震性の比較

家具の背の高さ、固定方法などによって、耐えられる震度が異なります。また、オフィスの状況によっては、家具の固定だけでなくレイアウトの改善で危険性を軽減する方法もあります。

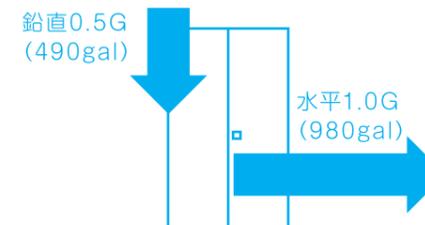
タイプ	ハイタイプ (1500H以上)			ロータイプ (1500H未満) ※左右連結を前提とする	
	固定しない場合	壁固定のみ	壁固定・床固定の両方	固定しない場合	床固定のみ
震度5弱	△	○	○	○	○
震度5強	×	○	○	△	○
震度6弱	×	×	○	×	○
震度6強	×	×	○	×	○

○…震度に耐えられる △…収納家具本体が移動します(ビルによっては転倒の可能性があります) ×…震度に耐えられない

【震度5弱】 大半の人が恐怖を覚え、ものにつかまりたいと感じる ●固定していない家具が移動することがあり、不安定なものは倒れることがある
【震度5強】 ものにつかまらなさと歩くことが難しい ●固定していない家具が倒れることがある
【震度6弱】 立っていることが困難になる ●固定していない家具の大半が移動し、倒れるものがある。ドアが開かなくなることがある
【震度6強】 はわないと動くことができない。飛ばされることがある。 ●固定していない家具のほとんどが移動することがあり、倒れるものが多くなる

※建物や設置場所の構造により転倒性に違いがありますのでお気を付けてください

オカムラの地震対策の基準となる対応加速度



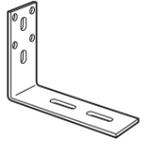
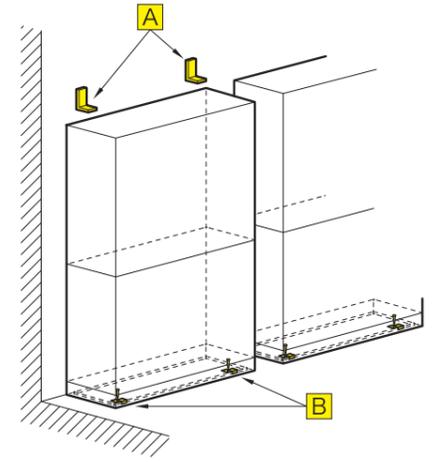
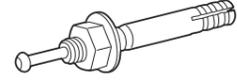
※阪神大震災の際、地表面で水平818gal、鉛直332gal(神戸海洋気象台の測定値)

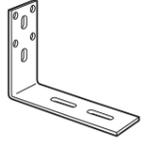
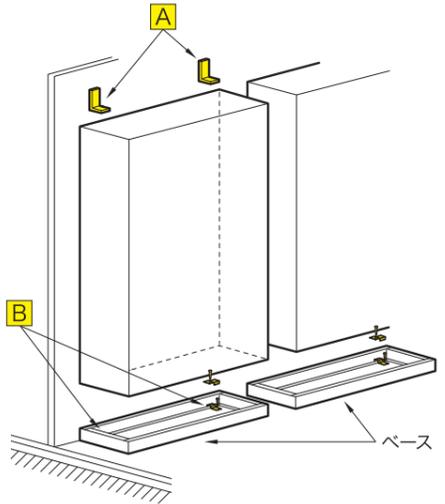
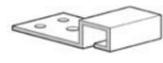
gal(ガル)とは？

加速度の単位で、地震の揺れの強さを表します。1galは速度が毎秒1センチの割合で速くなる状態で、cm/秒²=galという単位が使われます。自由落下する物体の加速度は980galで、この980galは重力の加速度で1G(ジー)と表すことができます。

日本オフィス家具協会(JOIFA)の基準および、日本建築学会・非構造部材の耐震基準に準拠しています。東京消防庁のガイドラインにある震度6強程度を想定した家具の地震対策もこの基準内と考えられます。ただし、建物の構造や同じ建物でも高さや場所により地震の揺れは異なります。個別の対策については、担当者にお問い合わせください。

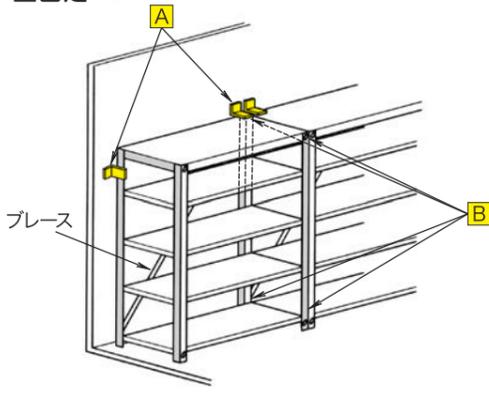
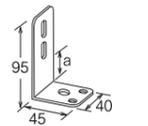
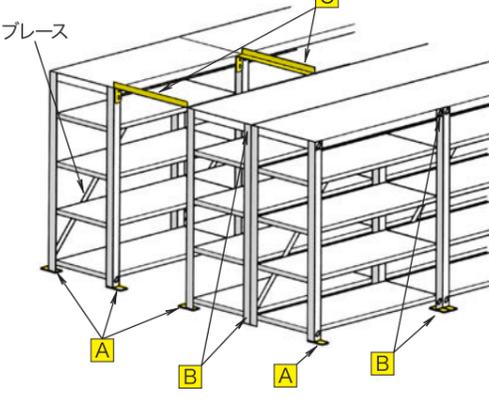
■ 収納システム

製品名	壁・床固定	固定金具
Rectlineシリーズ ■ 1100H 3段ラテラル+1050H 両開き (ベース一体型)	壁: コンクリート 床: スラブ床 or OAフロア (50mm以下)	A  壁固定用L型金具(L-2)
		B  オールアンカー(C-2)
	筐体間の横連結・上下連結は、標準の金具セットで必ず行ってください。	B  床固定用金具(L-12) ベース一体型前部用

製品名	壁・床固定	固定金具
Rectlineシリーズ ■ 2100H 両開き+50H ベース (ベース分離型)	壁: ボード 床: OAフロア (50~100mm)	A  壁固定用金具(L-2)
		B  ボードアンカーセット(C-21)
	筐体間の横連結・上下連結は、標準の金具セットで必ず行ってください。	B  床固定用金具(L-12)
		※別途ビスが必要です。(M8 CTアンカー+ボルト)

■ 物品棚

※物品棚の強度は「JIS S 1039書架・物品棚」の基準に準じています。

製品名	壁・床固定	固定金具
63型軽量棚	壁固定 	A a: 壁面とラックの隙間寸法23~37mm および48~62mm  床・壁固定用金具 (63301P-T03) [金具4個・ボルトセット・アンカーボルト4本(M8×50L)付]
	※天板と壁面を固定する場合は、別途天板と支柱の固定が必要です。	B  連結金具
	自立型の床固定・頭つなぎ 	C  頭つなぎ材 L:1800mm 頭つなぎ金具 ※通路幅1800mmまで ※現地孔あけ加工および長さカットが必要です。
	※物品棚の固定力耐震方法計算を行ってください。条件によってアンカーを変更する必要があります。※OAフロアに設置する場合は、OAフロア対応金具が必要になります。	連結金具セット (63115Y-T03) [6個セット入り・ボルト付]
	※プレースは特注対応になります。	頭つなぎ材 (6S801P-Z269) 頭つなぎ金具 (63300P-Z269) [2個・ボルトセット付]

■ デスクシステム

製品名	壁・床固定	固定金具
ADVANCEシリーズ	床固定 	 床固定用金具 (D3908Y)
	床固定金具	 ワイヤーベルト (FHW002X)

ローパーティション

製品名

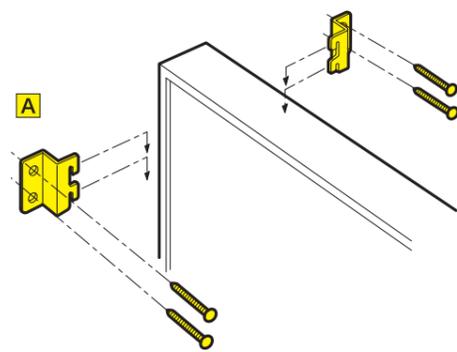
POSITシリーズ



壁・床固定

壁固定

直線の端部は壁固定を行ってください。

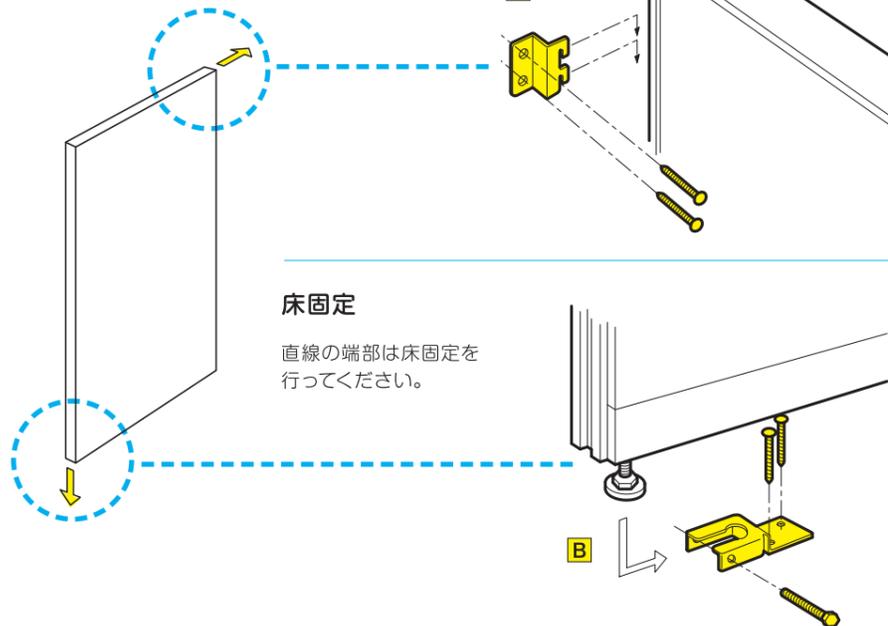


A 壁固定金具

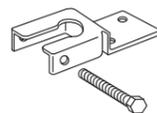


床固定

直線の端部は床固定を行ってください。



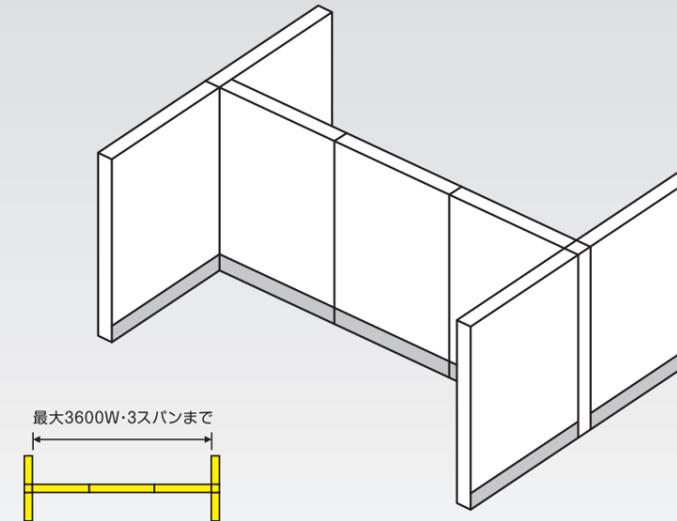
B 床固定金具



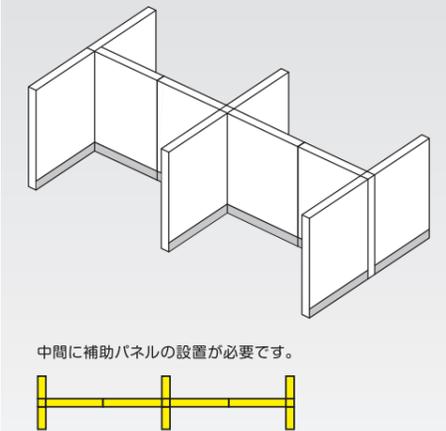
ローパーティションのレイアウトは、安定性のあるH型に組むことをおすすめします。

ローパーティションのみで自立させる場合

H型 [基本はH型に組むことが効果的]

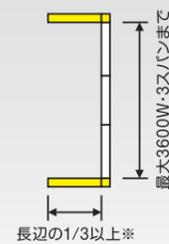


[3スパン以上になる場合]

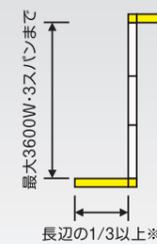


H型に組むことができない場合

コの字型



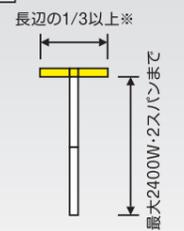
S型



L型



T型



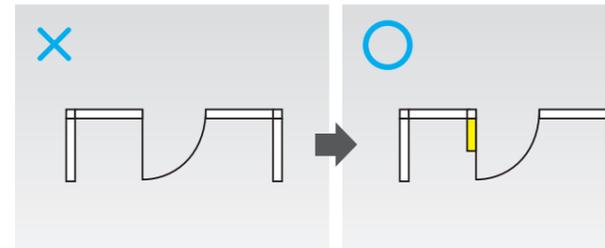
[H型・コの字型・S型]

直線連結で最大3600W・3スパンまでの範囲内で「折り曲げ(短辺)」を確保してください。

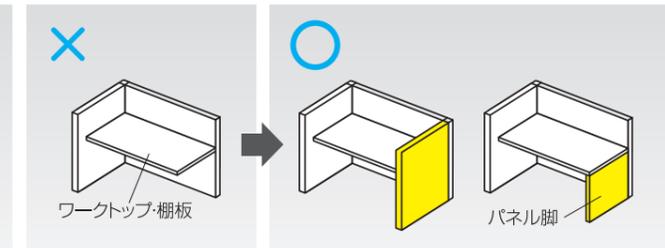
[L型・T型]

一辺が直線になる場合は、コーナー支柱(固定箇所)から最大2400W・2スパンまでの範囲内で設置してください。

ドアを設置する場合



パネルにオプションを取り付ける場合



直線連結が最大3600W・3スパンまでの範囲内で90°コーナー部に配置。直線の間部には設置しないでください。(補助パネルを取り付ける場合のみ可)

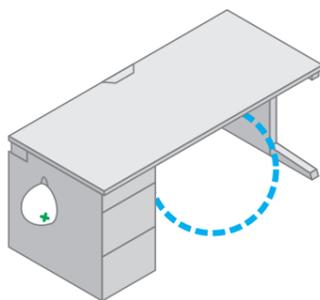
ワークトップ、棚板などを取り付ける場合は、コの字型に組み合わせるか、パネル脚を併用してください。L型に取り付けることはできません。

※長辺の1/3以下になる場合は、床・壁・収納・デスク等への固定が必要です。

日常の運用管理と点検

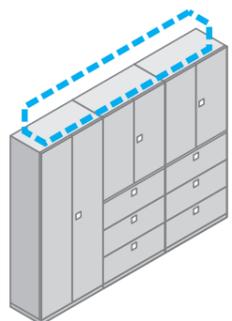
オフィスレイアウトの点検・見直しや工事による地震対策は、一度だけ実行して終わりというものではありません。地震による被害を最小限に抑えて事業を継続するために、常に安全に対する改善点を見つけ出し、早めに対処することが必要です。

オフィスレイアウトの点検



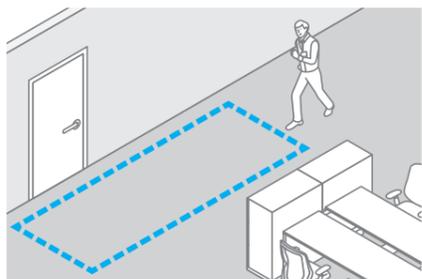
デスクの上の書類や机の下などは、日頃から整理整頓しましょう。

普段から整理整頓を心がけ、特に机の下は地震発生時に身を隠せるスペースを確保しておきましょう。また、ヘルメットはすぐに取り出せる場所に置いておきましょう。



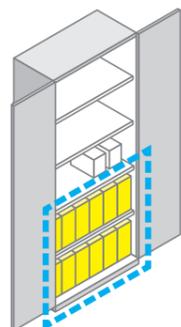
什器や備品の上に荷物を乗せるのは危険なのでやめましょう。

背の高い収納家具などの上に荷物を積み上げると、地震発生時は頭上に降り掛かって大変危険です。平常時は美しい水槽や花瓶も落下すると凶器になります。



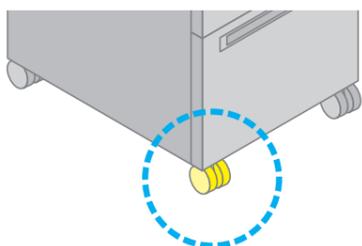
通路スペースを段ボールなどの荷物でふさがないようにしましょう。

通路は避難路になります。普段から荷物を通路に置かず、付近の収納家具から中身が飛び出さないよう、しっかり対策を立てておきましょう。



収納庫は下段から使いましょう。

上段に荷物が多いと、重心が高くなり転倒の危険性が高まります。重いものは下の方に入れるように心がけましょう。



ワゴンやコピー機のキャスターを必ずロックしましょう。

キャスター付のワゴンやコピー機は揺れで移動する可能性があり大変危険です。特に高層階(30m以上)の場合は、長周期の揺れで凶器のように激しく移動することがあります。ロックのほかにも、アジャスターやベルトなどを使用して、動かないように止めておきましょう。

防災用品・衛生用品の準備

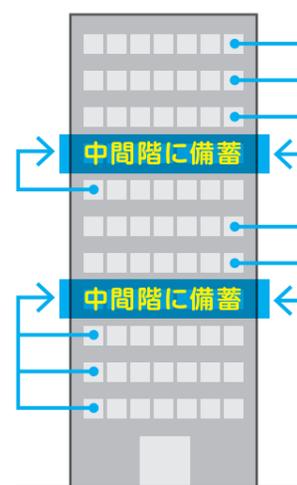
もしもの時に備えて備品の補充・入れ替えをしましょう。

ケガ人が出たとき、停電になったとき、インフルエンザなどのウイルスが拡大するときなど、地震発生後に起こりうるリスクを想定し、常に補充、入れ替え、種類の見直しなどを定期的に行いましょう。

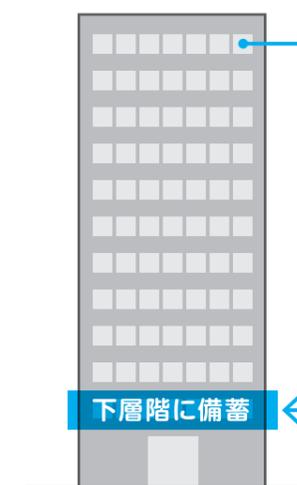


備蓄場所の見直し

○
取りにいきやすい



×
取りにいきにくい



備蓄場所は実際に使用するシーンを想定して決定しましょう。

もしもの時に、必要不可欠な備蓄品。いざ使用するとき場所がわからなかったり、取りに行きにくかったりしてはいけません。上層階と下層階のどちらからでも取りに行きやすい中間階に備蓄場所を設けるなど、工夫することが大切です。

防災用品

もしも社員や職員にケガ人が出た際には応急手当が必要になります。最も大事な事業資産である人材を守るための備えも用意しています。

■エレベーターチェア

都市型災害・エレベーター閉じ込め対策として、非常用品を収納した椅子。



WS01ELP-B550
¥79,600
500W×350D×450H・
15kg(収納品含む)



普段は、椅子として。エレベーター内の優先席・一時荷物置きとして利用できます。また、収納品のいたすら防止として非常用ボタンを標準装備しています。(座下中央赤ボタン)



本体自体が、便座式トイレに。非常時には、本体をそのままトイレとして利用できます。目隠し用消臭剤等も収納され長時間の待機も安心です。



非常用品を収納。もしも災害や停電・故障などによってエレベーター内に閉じ込められてしまった場合に備え、本体に非常用品(ライト、飲料水、トイレ等)を収納。取り付け工事も不要な置き型タイプです。

■タタメット(折り畳み式ヘルメット)



4480TCP-B813
¥4,500
立体時/235W×292D×151H
収納時/332W×35D×221H・
375g
頭のサイズ/47~62cmまで対応



反射ステッカーを前後に使用。光に反射して居場所を知らせます。



薄く畳めるので(35mm)書類と同じようにまとめて収納することが可能です。



フック付パッケージなので身近な場所に引掛けて個別に保管することも可能です。

感染予防・衛生用品

インフルエンザなどのウイルスによる感染症の拡大は、事業活動に大きな影響を及ぼします。感染拡大の防止には、日頃からの衛生管理の備えが必要です。

■ヒビスコール®SH 火気厳禁

手指をいたわりながらしっかり消毒。
※有効成分:クロルヘキシジングルコン酸0.1w/v%



1Lポンプ付 WS7015P-B100
¥60,300
10個セット

5L詰め替え WS7202P-B100
¥81,500
3個セット

■ヒビスコール®SHL 火気注意

消防法における危険物の規制を受けない手指消毒剤。
※有効成分:クロルヘキシジングルコン酸0.1w/v%



1Lポンプ付 WS7016P-B100
¥60,300
10個セット

5L詰め替え WS7204P-B100
¥81,500
3個セット



■サラヤン®ジェルSH1 火気厳禁

保湿成分を配合したジェル状の手消毒剤。
※有効成分:クロルヘキシジングルコン酸0.1w/v%



500mL角ポンプ付 WS7205P-B100
¥34,800
10個セット



オプション

■ノータッチ式ディスペンサー(GUD-1000 PHJ)



WS7206P-B100
¥19,800
サイズ:147W×101D×268H
消毒液噴射量=約1.5mL/回 ※使用薬液は別売です。

1.ノータッチで衛生的

一切手を触れずにセンサー感知で薬液を手にとることができます。

2.ヒビスコールSH、SHLに対応

用途に応じて2種類の薬液からお選びいただけます。

3.どこでも設置が可能

据置きでも壁付け*でも対応でき、乾電池式なのでコンセントのないところでも設置可能です。

*:壁付け時は別売オプション品が必要です。



■その他の機能



電池式(単1×4本) いたずら防止のカギ付
※アルカリ乾電池をご使用ください。(別売り)

■マルチスタンド

ノータッチ式ディスペンサー取付時。



WS7207P-B100
¥71,500 ※取り付け金具付き
※写真はノータッチ式ディスペンサー取付後

●減容容器:廃棄・再利用に発生するムダを省いたプラスチック容器で、廃棄に掛かるコストを削減だけでなく、ゴミの減容化を促進し環境保護に貢献します。

■スタイルデコ®

個室スペースに無理なく収まるコンパクトサイズの、便座クリーナー用ディスペンサーです。



便座クリーナー用ディスペンサー WS7017P-B100
¥14,500
80W×97D×185H
噴射量=約0.8mL/回
鍵なし、6個セット
※カートリッジボルトが別途必要です。(別売)

■カートリッジボルト

薬液補充タイプボルト



WS7210P-B100
¥12,900
24個セット、250mL
※使用薬液は「便座きれいくん」をご使用ください。(別売)

■便座除菌クリーナー

使いきりタイプボルト



WS7208P-B100
¥29,600
24個セット、250mL

■クリーンデコ®

薬液残量確認窓付きの、便座クリーナー用ディスペンサーです。



便座クリーナー用ディスペンサー ホワイト WS7018P-B100
¥7,000
106W×119D×226H
噴射量=約0.3mL/回
鍵付
※使用薬液は「便座きれいくん」をご使用ください。(別売)

■便座きれいくん 火気注意

スタイルデコ、クリーンデコに使用する便座クリーナー薬液です。



5L WS7211P-B100
¥26,500
3個セット



3L WS7212P-B100
¥17,500
3個セット

オカムラのトータルサポート

大切な「人」「モノ」「情報」をリスクから守るために。
事業継続に必要な対策の範囲・予算等を明確化します。



✓今すぐできる！オフィスの安全チェックリスト

もしもの時に備えて、日頃からオフィスの安全性についてチェックしておきましょう。チェックをつけた数が多いほど、地震対策を講じていることになります。

下記の設問を読んで、当てはまるものにチェックマーク✓をつけてください。

【オフィスレイアウト・工事による地震対策】

- 避難通路の幅は、1.2m以上とっている。
- 出入口(避難口)の付近に転倒のおそれがある家具を置いていない。
- 避難誘導灯は、どこからでも見える。
- ローパーティションを直線的に長く設置していない。
- 執務エリアや、オフィスの中央、窓のそばに背の高い家具を置いていない。
- 2つの家具を背中合わせに連結して設置している。
- 収納家具を壁固定・床固定または頭つなぎ材で連結・筋交い(ブレース)で補強している。

【災害対策家具】

- 引出しが同時に開かない収納家具を使っている。
- 扉や引出しが勝手に開かないラッチ機構付の収納家具を使っている。
- 飛散防止フィルム・強化ガラス付の収納家具を使っている。
- 背面と天板の両方で連結できる収納家具を使っている。
- コンクリート床面に直接固定する収納家具を使っている。
- 上下・左右に各ユニットを連結できる収納システムを採用している。
- デスクの天板に固定できるディスプレイを使っている。

【日常の運用管理と点検】

- デスクの上や下は整理整頓している。
- 什器や備品の上に荷物を乗せていない。
- 通路スペースを荷物などでふさいでいない。
- 収納庫は下段から使っている。
- コピー機のキャスターや移動の必要のないキャスター付ワゴンは必ずロックしている。
- 防災用品・衛生用品の準備をしている。
- 適切な備蓄場所を確保している。
- 災害時の対策は社内で周知徹底されている。
- 定期的にオフィスレイアウトや備蓄品の点検・見直しをしている。

ISO14001 登録

オカムラグループ
(株)岡村製作所(株)オカムラ物流
(株)オカムラサポートアンドサービス 登録番号: JSAE 283
(株)関西岡村製作所 登録番号: JQA-EM 0459
(株)エヌエス オカムラ 登録番号: JQA-EM 1618
(株)山陽オカムラ 登録番号: JQA-EM 1166
(株)富士精工本社 登録番号: KHK 09ER793
サイアム・オカムラ・スチール 登録番号: 24121201001

ISO9001 登録

追浜事業所 登録番号: JSAQ 630
つくば事業所 登録番号: JSAQ 2763
高島事業所 登録番号: JSAQ 1316
富士事業所 登録番号: JSAQ 2764
御殿場事業所 登録番号: JSAQ 2765
中井事業所 登録番号: JSAQ 860
(株)関西岡村製作所 登録番号: JQA 2484
(株)エヌエス オカムラ 登録番号: JQA-QM 4055
(株)山陽オカムラ 登録番号: JQA-QM 3753
(株)富士精工本社 登録番号: KHK 98QR094
サイアム・オカムラ・スチール 登録番号: 24111011007

カタログの記載について

- 価格には消費税は含まれておりません。お買い上げの際には、消費税を別途承ります。
- 価格は、メーカー希望小売価格です。配送費、施工費は含まれておりません。
- 記載の寸法表示は、mm(ミリメートル)で表しています。
- 諸般の事情により、価格・仕様・寸法・カラーなどを予告なく変更する場合があります。
- 現品とカタログの掲載製品の色は、印刷のため多少相違がありますのでご了承ください。



グリーン購入法
基準適合製品

○本カタログには、グリーン購入法適合製品が掲載されております。
このマークは、一般社団法人日本オフィス家具協会 (JOIFA) が【国等による環境物品等の調達に関する法律 (グリーン購入法)】の普及と識別を目的として制定した統一マークです。マークは、JOIFA会員企業の製品でグリーン購入法に適合していることを示し本マークで表記された製品の紹介文字等は緑色で示しております。なお、グリーン購入法適合製品のうち木質材を使用した製品に関しては、ご要望に応じて合法性等の証明書をご提示致します。

- 適合している製品は製品コードを緑色で表示。
- 非適合製品は製品コードに*を付けて表示。
- 対象外製品は製品コードを黒色で表示。

1234BC-FT□□ 1234BC-FT□□* 1234BC-FT□□



GREEN
WAVE

○本カタログには、オカムラグリーンウェブ製品が掲載されております。
自然環境の保護・リサイクル推進の観点から、オカムラが独自に環境保全に役立つ製品として推奨するものです。



GREEN
WAVE

○本カタログには、オカムラグリーンウェブプラス製品が掲載されております。
森林認証やRoHS指令・REACH規制・BIFMA・GSなど、グローバルでよりハイレベルな環境配慮に対する基準をクリアした製品として推奨するものです。



☆☆低ホルム材

○本カタログには、低ホルム材使用製品が掲載されております。
主要木材のホルムアルデヒド放散速度が、0.005mg/m²・h以下・平均値(F☆☆☆☆基準)の材料を使用している製品です。

⚠ オカムラ製品のご使用にあたり

- 厳しい品質検査を終えた製品をお届けしていますが、万一製品に不具合が生じた場合はご連絡ください。確実な対応をさせていただきますと、今後の製品開発や再発防止に反映させていただきます。
- 什器のご使用にあたっては、必ず取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。また、取扱説明書は大切に保管してください。
- お客様により安全にお使いいただくために、必要に応じて製品への警告ラベルを貼付しています。ご使用前に内容をご理解の上、正しくお使いください。
- カタログ、説明書、ラベル等に表記してある最大積載質量を超える物を載せないでください。
- 解体・施工に関する作業は、担当者までお申し付けください。
- 不要となった製品の廃棄は、法令によりお客様が適切に処理する責任があります。廃棄の際は法令に従った適切な廃棄処理をお願いいたします。ご不明な点はご相談ください。

オフィス家具製品の安全性と保証期間

当社は一般社団法人日本オフィス家具協会 (JOIFA) の「オフィス家具PL対応ガイドライン」に準拠した安全な製品をご提供しております。この製品の保証期間は、特別の定めある製品以外は、JOIFA顧客対応ガイドラインに基づき、通常の状態で使用された場合の3つの種類ごとに (お客様ご購入の日から) 1年・2年・3年としております。今後とも当社はより一層製品の品質・安全に留意してまいります。当社製品をこれからもご愛用ください。

	不具合箇所・現象の例	保証期間
外観・表面仕上	塗装及び樹脂部分の変色、レザー・クロスの磨耗	1年
機構部・可動部	引出しスライド機構、扉の開閉・錠前・昇降機構の故障	2年
構造体	強度・構造体に依る破損	3年

JOIFA308 一般社団法人 日本オフィス家具協会 会員番号

JOIFA標準使用期間について

消費生活用製品安全法が改正され特定の製品には「設計標準使用期間」の表示が義務づけられました。オフィス家具は対象ではありませんがJOIFAでは経年劣化による事故を防止し安全にお使いいただくため「JOIFA標準使用期間」を設定致しました。該当製品には構造部分の経年劣化が予測される年数をラベルで表示し注意喚起致しますのでご理解いただけますようお願い申し上げます。製品ごとに異なりますので詳しくはお問い合わせください。なお、品目別「JOIFA標準使用期間」は下表のとおりです。

机	10年	非回転椅子	8年	手動式移動棚	8年
机(可動部のあるもの)	8年	固定椅子(脚が木製)	5年	教室用家具—机	8年
テーブル	10年	折りたたみ椅子	5年	教室用家具—椅子	8年
テーブル(可動部のあるもの)	8年	収納家具(除・電装木製)	10年	金庫	20年
折りたたみテーブル	8年	収納家具(引出し付)	8年	ボード(除・電子黒板)	10年
回転椅子	8年	棚(固定式)	10年	ボード(除・自立式)	5年

* 標準使用期間は耐用年数、保証期間ではありません。
* 弊社では、機・手動式移動棚・金庫及び学習机等は適用外となっています。
また、ガラステーブル・ローバー・ディンションはJOIFAとしても対象となっていません。

2017年 7月 発行

よい品は結局おトクです

オカムラ
株式会社 岡村製作所

ホームページアドレス <http://www.okamura.co.jp/>

お問い合わせ・ご相談は
お客様相談室へ
フリーダイヤル ☎0120-81-9060
受付時間 9:00~17:20 (土・日・祝日を除く)

お問い合わせ・ご相談は、下記へ